

GROUP 

団体受講プラン

対象

ミュージアム（美術館・博物館等）の運営主体

受講形式

- ・団体で受講する研修としてお申し込みください。
- ・動画は、個人受講プランの基礎編、実践編の中から選択できます。

職員やスタッフの
研修として利用できます

- ・受講者は、各自学びを振り返るレポートをフォームより提出します。
- ・担当者は、研修の報告書をフォームより提出して受講完了となります。

※会場と動画視聴の機材をご用意ください。

※NCAR からの講師派遣はありません。



募集期間 約3ヶ月

2026年9月7日(月)-12月15日(火)



受講期間 約4ヶ月

2026年10月1日(木)-2027年1月27日(水)

募集期間
受講期間

9月

10月

11月

12月

2027年1月

※受講期間内の任意の日程で研修を実施できます。

受講の流れ

01 申し込み



担当者がフォームより
申し込む

02 受講案内



申し込み後、約2週間で
受講案内が届く

03 動画視聴



選択した動画を集団
で視聴する

04 レポート提出



受講者が振り返りレポー
トをフォームより提出する

05 報告書提出



担当者がフォームより
提出する

申し込み方法

要事前申し込み・参加費無料

NCARウェブサイトのイベントページに掲載されている各フォームより、お申し込みください。

【申し込み締め切り】

- ・個人受講プラン：2026年10月15日(木)
- ・団体受講プラン：2026年12月15日(火)



<https://ncar.artmuseums.go.jp/events/20260904.html>

お問い合わせ

独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター
「ミュージアム・アクセシビリティ研修」担当

メールアドレス：fukafukativ.ncar@artmuseums.go.jp

電話番号：03-6910-0244

お問い合わせ専用フォーム



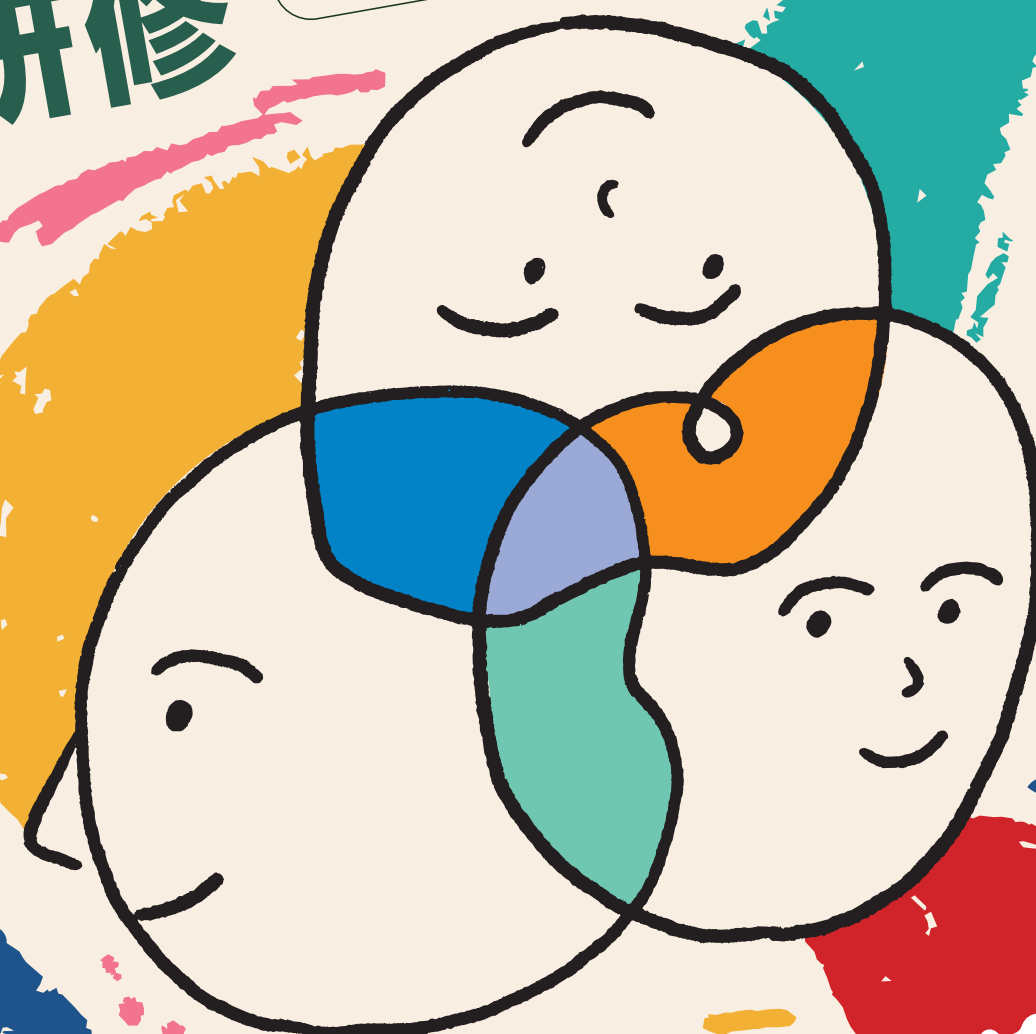
<https://forms.cloud.microsoft/r/QLuXJLf4D>

ミュージアム・ アクセシビリティ 研修

eラーニング

無料

異なる視点が
学びをひらく



独立行政法人国立美術館
国立アートリサーチセンター
National Center for Art Research



個人受講

募集
期間

2026/9/7(月)-10/15(木)

受講
期間

2026/11/4(水)-2027/1/27(水)



団体受講

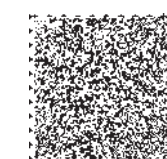
募集
期間

2026/9/7(月)-12/15(火)

受講
期間

2026/10/1(木)-2027/1/27(水)

音声コード (Uni-Voice)
Uni-Voiceアプリで音声コード
を読み取ると、チラシの内容
を音声で確認できます。



研修について

国立アートリサーチセンター（NCAR）では、ミュージアムにおけるアクセシビリティについて、eラーニングで全国どこからでも受講できる研修を開催します。
あらゆる人が文化的な体験にアクセスできるミュー

ジウムを目指し、「合理的配慮」や「情報保障」などの基礎知識を中心とした内容で、実践事例も知ることができます。これからアクセシビリティに取り組む人や基本から学びたい人、広くアクセシビリティに関心のある人に向けた研修です。

PERSONAL

個人受講プラン

業種や所属先の有無に関わらず、1名で受講する研修です



対象

美術館、博物館、劇場等の文化施設に関わる人、ミュージアムのアクセシビリティに関心がある人

参加条件

- ・オンライン上で動画を視聴し、メールで受講案内を受信できること
- ・すべての動画を視聴する意思があること

**募集期間** 約1ヶ月
2026年9月7日(月)-10月15日(木)

**受講期間** 約3ヶ月
2026年11月4日(水)-2027年1月27日(水)

	9月	10月	11月	12月	2027年1月
募集期間	●				
受講期間			●		

受講の流れ

01 申し込み

個人がフォームより申し込む

02 受講案内

各動画の配信日に受講案内が届く

03 動画視聴

視聴期間内に動画を視聴する

04 レポート提出

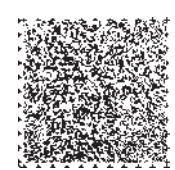
振り返りレポートをフォームより提出する

05 修了証発行

修了条件を満たした場合に発行される

修了条件

- ・9本すべての動画を視聴する
- ・基礎編と実践編のレポートを期日までに提出する



音声コード
(Uni-Voice)

Uni-Voiceアプリで音声コードを読み取ると、チラシの内容を音声で確認できます。



ミュージアムにとってのアクセシビリティとは？

ミュージアムには誰もが文化芸術を享受できる開かれた場としての役割が求められています。国立西洋美術館、横浜美術館、鳥取県立美術館の館長がアクセシビリティの必要性和各館の取り組みについて話す動画をNCARウェブサイトにて公開中です。ぜひご覧ください！



動画配信スケジュール

NCARウェブサイトにて、お試し視聴動画を公開中！どのようなことが学べるのか、受講を考えている方に向けて内容の一部を紹介しています。

※動画には、ろう者による手話表現と日本語字幕、視覚情報を補足するテキストがあります。



【前半】基礎編 → 【後半】実践編

1 2026年11月4日(水)
ミュージアム運営のためのアクセシビリティを考える—OPENING—障害の社会モデル

14分

2 2026年11月11日(水)
ミュージアムにおける合理的配慮とは

31分

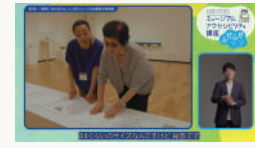
3 2026年11月18日(水)
ミュージアムにおける情報保障とは

30分

4 2026年11月25日(水)
ミュージアム運営のためのアクセシビリティを考える—CLOSING—平等性と公平性

10分

視聴期間/レポート提出：2026年12月8日(火)まで

1 2026年12月9日(水)
目が見えない人・見えにくい人@滋賀県立美術館

29分

2 2026年12月16日(水)
耳が聞こえない人・聞こえにくい人@金沢21世紀美術館

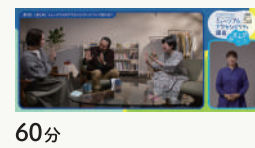
27分

3 2027年1月6日(水)
車椅子利用者・ベビーカー利用者@東京都庭園美術館

29分

4 2027年1月13日(水)
初めての場所へ行くのが苦手な人@東京都美術館

25分

5 2027年1月20日(水)
まとめ：ミュージアムのアクセシビリティについて語り合う

60分

視聴期間/レポート提出：2027年1月27日(水)まで

動画のお試し視聴とお申し込みはこちらから

